

待 陵 通 信 第11号

平成 24 年 2 月 8 日
(敬称略)

①訃報 平成 23 年 12 月 7 日以降に判明した方々 謹んでご冥福をお祈り致します。

9 文甲	松原 治	平成 24 年 1 月 3 日	東京都杉並区
9 理乙	堀田 進	平成 23 年 11月17日	茨木市
16 理 1	諏訪 博	2 月28日	枚方市
16 理 2	辻 悟	10月 6 日	吹田市
18 理甲 1	小川 圭治	平成 24 年 1 月17日	東京都東久留米市
18 理甲 1	宮里 義一	平成 23 年 11月23日	宝塚市
19 文甲 2	西本 健司	平成 24 年 1 月15日	東京都杉並区
20 理 3	西村 元一	平成 23 年 12月13日	横浜市港北区
21 文甲 1	海老澤慶一	12月12日	箕面市
21 文甲 2	増井 輝次	12月 4日	東京都世田谷区
21 文乙	吉矢 友彦	平成 24 年 1 月24日	遺族 箕面市桜ヶ丘 3-12-41 淳子
21 理 4	槇野 新平	平成 23 年 12月 4 日	東大阪市
22 理 1	濱野 正也	平成 20 年 6 月16日	鎌倉市

②住居・勤務先変更

19 理甲 3 廣瀬 恪二

〒 658-0032 電話 090-5155-7538

神戸市東灘区向洋町中 2-1-215 830 (元の住所)

21 文甲 2 露口 佳彦

(旧) ひかり法律事務所→(新) 露口法律事務所 (24 年 1 月より)

所在地 〒 530-0007 大阪市北区西天満 4-6-1 北ビル 2 号館 5 階 502 号室

電話 06-6366-8000 Fax. 06-6366-8008

③午餐会・懇話会

* 第 488 回午餐会 23 年 12 月 7 日 (水) 正午～14 時 30 分

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 中村 仁信先生 彩都友誼会病院長・前大阪大学医学部放射線科教授

テーマ:「低線量放射能は怖くない」

出席者 27 名

* 第 489 回午餐会 24 年 1 月 7 日 (土) 正午～14 時 30 分

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 高野 浩二 元建設省 浪高旅行会大和路歴史散歩講師

テーマ:「孫子の雀法」

出席者 36 名

* 文楽鑑賞 24 年 1 月 21 日 (土) 第 1 部 11 時 第 2 部 16 時

第 1 部 義経千本桜 壺坂観音霊験記 23 名

第 2 部 七福神寶の入船 菅原伝授手習鑑 卅三間堂棟由来 2 名

④寮歌祭・記念祭

* 第 14 回大阪倶楽部 寮歌を楽しむ会 23 年 11 月 16 日 (水) 15 時より

参加者 17 文 2 螺良英郎・19 理甲 1 津田泰男・20 文乙池口金太郎・20 理 1 土橋幸雄

以上 4 名 「浪速の友に」高唱 友誼校から多数の応援あり

⑤支部だより

*奈良支部

- ・総会・懇親会 23年12月1日(木)
於 三笠温泉 宴後三笠の車で海龍王寺を訪れる。国宝の五重の塔の美しいたたずまいに心のやすらぎを覚える。ここにて解散。
出席者 20 文甲吉川義俊夫妻・20 文乙坪井澄郎・20 理1 土橋幸雄・21 文甲1 梶谷亘・
21 文乙村田正孝夫妻・22 文甲2 国友正道 以上 8名

*阪南支部

- ・忘年会 23年12月8日(木)13時 於 堺東「本店 嶋川」
出席者 3 理甲遺津賀美智子・6 文甲遺岩根正尚・18 理甲3 六島克・18 理甲4 高岸宗吾・
20 理2 鶴岡誠夫妻・21 理2 武田晃世 以上 7名
ボジョレーヌーボー(11月17日解禁)を賞味
- ・新春の集い 24年1月12日(木)13時 於 堺東「本店 嶋川」
出席者 6 文甲遺岩根正尚・17 理乙喜多舒彦・18 理甲4 高岸宗吾・19 理甲2 村上義弘
19 理甲3 三浦昭二郎・20 文乙城野伊一郎・20 理1 大塚穎三・20 理2 鶴岡誠夫妻
21 理2 武田晃世夫妻 以上 11名
恒例のビンゴゲームを楽しむ 1等: 岩根氏(初参加)

*関東浪高会

- ・新年交歓会 24年1月10日(火)12時～14時 於 新橋かに道楽店
出席者 21名(夫人1名を含む)(昨年27名)
司会 代表世話人 田中昂(21 文甲)
乾杯 発声 出羽皓(12 理乙)、新年挨拶 代表世話人 渡辺榮衡(21 文乙)
会食・懇談
有志による年頭所感 藤田宏(19 理甲4)、岸保芳郎(15 理乙)、蜂谷謙一(13 理甲)、
清岡繁夫(16 理1)、山田庄一(16 理2)
歌曲独唱 長野安恒氏(二期会会員、岸保顧問の紹介による)
「浪速の友に」斉唱 発声 代表世話人 徳久俊彦(21 文甲1) 閉会

⑥同期同級交歓

- * 16 回生同窓会 23年12月1日(木)12時～14時
於 大阪駅前第1ビル 12 F 神仙閣
出席者 文2 秋沢旻・江本義文・福井靖二
理1 栗野正之・武本達明
理2 上西洋二・岡崎元彦・山村好弘 以上 8名
- * 21 会(21 回同期会)第84 回三木会 23年12月15日(木)12時～14時30分
於 大阪第一ホテル 6 F ラヴェンダー
話題提供 21 理2 内林政夫 「ことばで探るコロンプスの功罪
ー食材、薬材、そして病材ー」
出席者 文甲1 額川勉二・真銅孝三
文甲2 茅野健・露口佳彦・松澤蒼夫妻
文乙 富田三郎・文箭安雄・村田正孝
理1 生島幹三・小谷剛造・山田茂樹
理2 内林政夫・島隆夫・武田晃世・田中義一・前田泰敬
理3 後藤業明・竹原登
理4 川島康生・中原充雄・西村順三 以上 23名
- * 21 回理三会 23年11月20日(日)13時
於 阪急ターミナルビル 17 F 「有馬」
出席者 金多潔・後藤業明・志水洋二・竹原登・玉井恭二・辻井健一・中島礼士・
中西克己・濱名茂治 以上 9名

⑦運動部・同好会だより

*待兼山俳句会(第503回) 23年11月21日(月) 於 大阪倶楽部会議室

出席者 井上浩一郎・長山あや・片岡京子・佐伯箕川・佐伯道子・阪本ゆたか・鈴木輝子
鈴木敏夫・瀬戸幹三・鶴岡言成・寺岡 翠・西村浩風・東中 乱・東野太美子・
平井瑛三・三宅洛艸・山戸暁子 以上 17 名

投句者 有馬健馬・上田元彦・川崎香月・斎藤義雄・田中嵐耕・中村和江・根来眞知子・
森 茉衣 以上 8 名 合計 25 名

兼 題 神の留守・時雨(浩一郎) 帰り花・小春(あや)

選者吟 時雨傘大路北から開きゆく 浩一郎

空の色薄きにともす返り花

かはるなく棲めば小春のありにけり

花石露の幽かにゆれて風さがす あや

帰り花となりて過ぎゆく刻を止め

神宮の神馬嘶く神の留守

井上浩一郎特選 これくらいならと三年日記買ふ あや

小春日の誘ふあてもなき散歩 洛艸

気後れてひそかなさまに帰り花 洛艸

帰り花となりて過ぎゆく刻を止め あや

百色のパステルひろげ庭小春 輝子

帰り咲く一枝の淋し空碧く 香月

あえかなる息吹灯して帰りはな あや

長山あや特選 納棺の締めの一枝帰り花 京子

お銚子を二本酌む間の時雨かな 暁子

ふたりして躡く木の根小春かな 幹三

時雨れつつ時雨れつつ山色を替へ 香月

小春日やつぎつぎこなす庭仕事 洛艸

定めなき人の世思ふ時雨かな 箕川

*待兼山俳句会(第504回) 23年12月19日(月) 於 大阪倶楽部会議室

出席者 林直入・長山あや・井上浩一郎・上田元彦・片岡京子・佐伯箕川・佐伯道子・
阪本ゆたか・鈴木輝子・鈴木敏夫・瀬戸幹三・鶴岡言成・寺岡翠・西村浩風・
根来眞知子・東中乱・東野太美子・平井瑛三・三宅洛艸・山戸暁子 以上 20 名

投句者 川崎香月・斎藤義雄・田中嵐耕・中村和江 以上 4 名 合計 24 名

兼 題 木兎・寒さ(浩一郎) 熱爛・毛皮(あや)

選者吟 木兎の聞き耳立てている如し 直入

毛皮とは甘い男に買はすもの

耐へ難き寒さ露天湯諦めし

気の向かぬパーティへ行く寒さかな あや

熱爛に外科医の父は責を解く

木菟鳴けば淋しだまればなほ淋し

林 直入特選 身に寒さ感じる限り生きてをり 暁子

湯冷めかと思ひし時はもう遅く 幹三

教室にマントの襟を立つ寒さ 言成

もう毛皮着ることもなき日々となり 瑛三

客去りて厨を仕舞ふ夜の寒し 香月

熱爛や饒舌の人黙る人 箕川

なつかしき寒さありふるさとの駅 幹三

うどん食ふ寒さふつ飛ぶ音立てて 洛艸

熱爛や猫舌八十路の今もなほ 浩風

長山あや特選 木兎や志士脱藩のけもの道 浩風

人住まぬ部屋に寒さの住みはじむ 太美子

身に寒さ感じる限り生きてをり 暁子

雪匂ふ風起こりたる里の黙	和江
寒さには負けぬ気構へ新たにす	太美子
荒ラ々と闇動きたる寒さかな	浩一郎
ただ一度父と熱燗酌みしこと	輝子

*浪高川柳同好会 第270回 23年6月

A兼題「芍薬」

天 芍薬は庭の宰相 庭を統べ	星爺（鶴岡 誠 20理2）
地 お暇らし 芍薬の花 ほめちぎり	日光（石倉 明 22文甲1）
人 芍薬に焼餅やいて歩く百合	ひろすけ（森川清一 19文乙）
軸 貌佳草 芍薬みたいな老爺目標	いのち（井上達明 22理2）

B連想吟

天 蚊遣火の豚 煙たがる夕涼み	ひろすけ
地 尻向けて 何を食べてる 白兎	いたる（中西 造 20理2）
人 小太鼓の 隊列 街を景気づけ	日光
軸 耳立てて 天敵を避け 生きるもの	日光

C自由吟

天 人の名の 出入り怪しげ まだらぼけ	日光
地 降る星は みんな銀河だ 人居るぞ	いのち
人 頑張らず よく足るを知り ことこつと	いのち
軸 蝙蝠に 後を任せて 燕寝る	ひろすけ

D都々逸 折込「た・け・の・こ」

天 誰か知らぬが健気な仕業 残し伝える故事数多	いたる
地 ただの女が化粧で化けて 残る色香で媚を売る	ひろすけ
人 たんと食べなよ 健康児童 望みは高くこつこつと	いのち
軸 高い位も煙となれば 残るものなし この世には	日光

E都々逸 兼題「筍」

天 土佐煮筍 山椒を添えて 家族で囲む旬の膳	ひろすけ
地 朝堀り筍 贈ってくれた 長岡の友 もういない	星爺
人 朝堀り筍 おひとつ如何 姉さんかぶりにすすめられ	ひろすけ
軸 辛い昔の筍暮らし 今はゆとりの エコライフ	いたる

*剣友会夏期例会 23年6月6日（月）14時

於 待兼山修学館内 ミュージアム・カフェ・坂

出席者 8理乙 槇野幾之輔 15文乙 藤井甚十郎 17文1 佐伯秀穂
17理甲1 栗野正之 17理甲2 松山敏彦 22理3 芳賀 洋 以上6名

★お知らせ 旧制浪高同窓会のホームページ（前号既報）

<http://www.osaka-u.ac.jp/namikou/>

「待陵通信」発行の都度追加掲載しております。今一度ご覧下さい。

★ご案内

船場大阪を語る会 第162回例会

日 時 24年3月17日（土）13時30分～16時

会 場 さいかくホール（府庁新別館北館1階）

アクセス 地下鉄（谷町線・中央線）「谷町4丁目駅」①出口を出て、地下道を北へ
約100m、突き当たりを右（東）へ。奥のエレベーターで地上へ。

講 師 シナリオ作家・映画監督 深尾道典氏

演 題 近江商人と船場・船場と映画

会 費 1,000円（入会金・年会費不要）

連絡先 船場大阪を語る会事務局 三島佑一（22理2）

〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-12-10-609

Tel・Fax. 06-6532-3094